

別紙3 点検表記録様式  
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 26' 20"	
				経度	137° 44' 51"	
中之橋 (フリガナ)ナカノハシ	村道3-39号線	長野県下伊那郡阿智村駒場栄町地籍				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
阿智村	2016.11.11	(1級)阿智川	有	一般道	その他	上水道管、下水道管、NTT

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 市村 祐司 点検責任者 下伊那郡土木技術センター組合 福澤 一朗

点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	III	ひび割れ	写真番号1,2			
	横桁	I					
	床版	III	剥離・遊離石灰・鉄筋露出	写真番号3,4,5,6			
下部構造		III	鉄筋露出・ひび割れ・欠損	写真番号7,8,9,10			
支承部		III	腐食	写真番号11,12			
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁、床版とも鋼板補強による補強がされているが、未対応箇所において著しい損傷がある。架替えによる措置を講ずるべきである。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員		
1931年	48.0m	7.50m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】ひび割れ</p> <p>写真1</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】ひび割れ</p> <p>写真2</p> 
<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】遊離石灰</p> <p>写真3</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】剥離</p> <p>写真4</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】鉄筋露出</p> <p>写真5</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】鉄筋露出</p> <p>写真6</p> 
<p style="text-align: center;">下部構造(橋脚)【判定区分: Ⅲ】ひび割れ</p> <p>写真7</p> 	<p style="text-align: center;">下部構造(橋脚)【判定区分: Ⅲ】鉄筋露出・欠損</p> <p>写真8</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">下部構造(橋台)【判定区分: Ⅲ】ひび割れ・遊離石灰</p> <p>写真9</p> 	<p style="text-align: center;">下部構造(橋台)【判定区分: Ⅲ】ひび割れ・遊離石灰</p> <p>写真10</p> 
<p style="text-align: center;">支承部【判定区分: Ⅲ】腐食</p> <p>写真11</p> 	<p style="text-align: center;">支承部【判定区分: Ⅲ】腐食</p> <p>写真12</p> 